



コロナウイルス感染症の対策として公園の遊具が使用禁止に、ぐるぐる巻きの黄色いテープと、赤い看板。(2020年4月25日撮影)

わたしたちの暮らしの中の
不安なこと、
疑問なこと、
良いと思うこと、
声に出して
つながろう！



新型コロナウイルス感染対策

市民からあがった声で実現しました



(市民グループから)

子どもや、公園に来た人に寄り添うメッセージを伝えたい

4月24日～、突然設置された赤い「遊具使用禁止」看板(写真上)。「公園で遊んじゃいけないの?」という声が届き、公園で活動する市民グループからも「外出自粛の中で公園を拠り所としていた人たちに、もっと寄り添った掲示内容にできないだろうか」との提案が出されました。これを市民ネットメンバーと共に検討、市に提案し、新たな緑色看板の設置が実現しました(写真下)。

access!



つくば市
ホームページ

「新型コロナウイルス
感染防止のための外出や
公園等のご利用について」



赤い看板に、イラストや緑色の看板が追加設置されました(2020年5月1日撮影)



(保護者から)

給食がなくなって、困っている おうちがある

休校中の小中学生を対象に、給食の代わりとしてパン(5月からは弁当)などを配布する、つくば市独自の「食の支援事業」。困っている世帯全てに確実に支援の手が届くように要望書を市長に提出しました。その後、学校の協力も得られ、少しずつ支援対象も広がっています。

access!



つくば市
ホームページ

「臨時休校中における
食の支援について」



要望書を五十嵐市長に手渡し(2020年4月17日撮影)



(小2母、他多数から)

休校中、先生から子ども達に 直接コミュニケーションを!

「学校は子どもたちをこのまま放っておく?」という声が多く寄せられました。そこで、子どもたちに新しい担任の先生から直接電話等でコミュニケーションを取ってほしい、という内容の要望書を教育長に提出しました。

access!



つくば市
ホームページ

「新型コロナウイルス対策による
影響についてのアンケート」



第1話 つくば・市民ネットワークとは？

—つくば・市民ネットワークってどんなグループですか？

「話したい」「聞いてほしい」ちょっとした困りごとから大きな問題まで、持ち寄って解決に向けて話し合っているグループです。
30代から80代までさまざまな人が参加しています。また、市議会議員を出しています。

—議員がいるということは、政党なんですか？

既存の政党ではありません。市民の代弁者として議会で直接発言する人を「代理人」として送り出しています。議員は「議会担当のメンバー」という感じです。

—問題解決のために議員？

「学校」「保育」「介護」「福祉」「ごみ」「水道」「道路」etc…これら「暮らし」に直結する問題を議論し、決定しているのが議会です。議員を出すことで、市民の意見が反映された「暮らしやすいまち」を作ろう、と考えています。

—つくば・市民ネットワークの議員はみんな女性ですね。

女性に限定する決まりはありません。ただ、議員が市民の代弁者だとすると、今の議会の女性の数はあまりにも少ない。女性議員を増やすのも「市民のための議会」の大切なポイントだと考えます。



あさのえきこ

答える人：浅野英公子

(つくば・市民ネットワーク運営委員)

【環境・ごみ部会】

つくば・市民ネットワークには、いくつかのテーマ別部会があります。メンバーそれぞれ関心のあることについて、取り組んでいます

環境・ごみ部会では「ごみゼロ！」をめざして活動中。こどもや孫の世代に安心して暮らせる環境を残すため、限りある資源を浪費することなく、持続可能な循環型社会を進めることをめざしています



環境・ごみ部会発の生ゴミ減量プロジェクトのひとつで、ダンボール箱を利用した生ゴミ処理容器。生ゴミを堆肥に生まれ変わらせます。出来た堆肥は松見公園の花壇にも使われています。

「この前ももらったカブ、美味しかった！」

「色も形もきれいだっただね。」

「肥料は“ダンボールコンポスト” だけなんだった」

「コンポストの作り方も技があるみたいよ」

「今度教えてもらいたいね」

つくば市民ネットワーク
3つのルール

①

議員は原則2期8年・最長3期で交代

市民ネットの議員（代理人）は原則2期8年・最長3期で交代し、職業化・特権化しません。市政への参加の層を広げます。任期を終えた代理人は地域の活動にその経験を生かします。

②

議員報酬は市民の活動費

市民ネットの活動はカンパで支えられています。議員も議員報酬の約半分を寄付し、調査・研究・学習など市民の活動費に使います。お金の流れは公開し、政治資金の透明化を図っています。

③

選挙はカンパとボランティアで

選挙は政治参加の入り口です。みんなでお金（カンパ）と知恵や労力（ボランティア）を出しあって選挙を行います。

※代理人とは：3つのルールのもとに会員から「代理人」を選出し、議員として議会へ送り出します。そして市民とともにまちづくりを考え、問題解決に取り組みます。

◆「新型コロナウイルス関連情報」をまとめました

～ひとりで悩まず、聞いてみよう。相談してみよう。

- 今、病院のかかり方
- 仕事や生活補償などの対策
- 悩みを電話などで相談したい
- 困っていることがある、こうしてほしいことがある



つくば・市民ネットワーク
ホームページ
「新型コロナウイルス
関連情報」

access!

◆議会スケジュール

～議場の傍聴はもちろん、スマートフォンで議会議中継が見られますよ！

6月議会 6/9～6/26

一般質問：つくば・市民ネットワークは
6/16の15時ごろの予定です

※一般質問とは、
議員が市政全般について行政側に報告や説明を求めること、
あるいは政策を提言すること、を言います



つくば市
ホームページ
↑スマートフォンでの
議会議中継はこちら

access!

◆新型コロナ対策第二弾 ～大事なこと、大切なことを議会で決めています。

国から「地方創生臨時交付金」（つくば市には約3億5千万円）が交付されます。何に使うかは自治体次第。そこでつくば市では、児童扶養手当を受けている世帯などに3万円給付（5,340万円）、国の「テナント等賃料助成」の対象外の事業者へ賃料助成（2億3,340万円）など市独自の生活支援、経済対策事業を5/28臨時議会で議決しました。

その他の支援はこちらをご覧ください→



つくば市
ホームページ
↑つくば市独自支援の内容

access!

まずは自分が
できることから
選挙に行こう

10.25

つくば市長／つくば市議選挙



つくばの未来をいっしょにつくろう

つくば・市民ネットワーク

TEL
&
FAX

029-859-0264

E-mail / tsukubahotnet@ybb.ne.jp

